

(令和6年9月19日)

◆件名	林道東俣線内で発生した崩土による榎島ロッヂ宿泊者等の孤立
◆覚知日時	令和6年9月19日(木)10時頃 林道東俣線管理業者から市森林政策課へ崩土発生の入電
◆概要	<p>これまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道東俣線の起点から上流へ11.2kmの令和4年台風15号復旧工事現場付近で崩土が発生し、林道上に約700m³の土砂が堆積しているものと推測されます。現在も土砂が落ちてきている状況です。 ・現場には、林道東俣線管理業者の作業員や市職員がいましたが、ケガ人がいるとの情報はありません。 ・林道東俣線は12時から通行止めとしています。 ・崩土発生現場よりも上部にある榎島ロッヂに宿泊している一般登山者や、リニア中央新幹線工事や林道東俣線の整備作業員など、少なくとも148名が孤立している状況です。(17時時点) ・このうち、一名の方が体調不良だったため、消防ヘリで救助に向かい、県立総合病院へ搬送しました。(17時15分頃搬送済) ・その他、明日(20日)に榎島への下山予定の南アルプス登山中の方が23名いると推定されます。 ・15時45分に市長を本部長とする市災害対策本部を立ち上げました。また、吉田副市長を本部長とする現地対策本部を井川支所に設置しました。 <p>今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立している方々には、榎島ロッヂの管理人を通じて、現在の状況説明と下山の意向確認を行いました。 ・明日(20日)の天候等を見たうえで下山方法を決定し、準備が整い次第、まず、一般登山者の要配慮者に優先して下山していただきます。(現在の予定では、朝6時頃より、市ヘリと県ヘリが連携し、輸送する予定) ・土砂の崩落の安全が確認でき次第、土砂撤去を開始する予定です。撤去作業には早くとも2日はかかるものと推測しています。 ・明日(20日)は、まず、人が通れる道路の確保に努めます。
◆問い合わせ	市災害対策本部広報班(広報課) 浪越、大塚 電話 054-221-1353

※別紙資料 有

位置図

終点

崩土箇所(起点から11.2km地点)

起点
沼平ゲート



